被災した古い建築物のアスベストに御注意ください。

<u>建築年代の古い鉄骨又は鉄筋コンクリート建築物</u>は、アスベスト含有建材を使用している可能性があり、倒壊等した場合、アスベスト含有建材の露出等により、アスベストが飛散する可能性があります。

なお、木造建築物は、飛散性アスベストを使用している可能性は低いです。

1 アスベストに注意が必要な建築物

- ・ 鉄骨造又は鉄筋コンクリート造の建築物では、 柱や梁等に吹付けアスベスト等が使用されている可能性 があります。
- 配管等にも、断熱材や保温材として、アスベストを含有するものが使用されていることがあります。
- スレート等にも、アスベストが含まれている可能性があります。

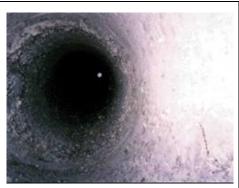
【アスベスト含有建材の例】



鉄骨造の針・柱の耐火被覆



機械室の壁・天井の断熱



煙突の断熱材



保温材 (配管等)



天井のスレート板

2 アスベストのばく露防止の対策方法

- むやみに建築物の除去等作業現場に近づかない。
- 散水等を行い、飛散を防止する。
- ・スレート等については、破砕、切断等の粉じんが発生する作業は極力避けて、やむを得ず破砕等を行う場合は、散水により粉じんの発生を防止する。
- 防じんマスク等を着用する。